



この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。 (承認番号：平20第幾、第202-03349P-34549P)

交通アクセス

- 鉄道バス
①仙台駅～(JR仙石線 約1時間30分、快速約1時間)～石巻駅～(宮城交通船 川線 約30分)～汐見台公園入口 (津田沼駅 平日のみ、第202-03349P-34549P)
②古川駅～(JR陸奥東線 約10分)～小牛田駅～(JR石巻線 約40分)～石巻駅 (宮城交通船川線 約30分)～汐見台公園入口
- 高速バス
①新庄駅～(宮城交通 約6時間30分)～石巻駅
②仙台駅～(宮城交通 約1時間30分)～石巻駅
- 自動車
①瀬和IC～(東北自動車 約4時間)～仙台IC～(仙台南道路 約10分)～仙台港IC～(仙台東道路 約3時間)～三陸自動車 約40分)～石巻IC (国道16号線 一般道 約15分)～石巻駅
②盛岡IC～(東北自動車 約1時間15分)～若柳金成IC (国道4号線 約40分)～豊米IC～(三陸自動車 約35分)～石巻河内IC (国道16号線 一般道 約15分)～石巻駅
③仙台駅～(国道137号線 約15分)～仙台IC～(仙台東道路 三陸自動車 約35分)～石巻河内IC (国道16号線 一般道 約15分)～石巻駅
- 航空機
①仙台空港～(仙台空港アクセス線 25分)～仙台駅～(JR仙石線 約1時間30分、快速約1時間)～石巻駅

観光施設

- 無島
八戸市
- 階上岳
階上町
- 小袖海岸
久慈市
- 北山崎
久慈市
- 浄土ヶ浜
宮古市
- とどヶ崎
宮古市
- 吉里吉里海岸
宮古市
- 碓石海岸
大船渡市
- 氣仙沼大島
気仙沼市
- 松島
松島町
- 蒲生干潟
蒲生町
- 金華山
石巻市
- 鳥の海
新地町
- 松川浦
相馬市

三陸復興国立公園

- 三陸復興国立公園区域
- 開通箇所
- 平成28年度以降開通予定箇所

みちのく潮風トレイル

Michinoke Coastal Trail

〔石巻市 牡鹿半島北部〕

みちのく潮風トレイル 石巻市牡鹿半島北部ルート

サン・ファン館～桃浦

1 万石浦

仙台藩第2代藩主伊達忠宗が「この入江を千石以上の万石の米がとれるだろう」と語ったことが、万石浦の由来と伝えられています。現在では、カキやアサリの水揚げ場として知られています。



2 宮城県慶長使節船ミュージアム (サン・ファン館)

1613年(慶長18年)、仙台藩主伊達政宗の命を受け、支倉常長(はせくらつねなが)ら艦長連使節はヨーロッパに渡りました。ミュージアムでは、一行を乗せた太平洋を往復した本造格帆船「サン・ファン・パウティスタ号」の復元船を常設展示しています。施設内では、パネルや映像などを用いて、艦長連使節の歴史的意義を紹介しています。またサン・ファン・パウティスタ号の復元船の進水日である5月下旬には、毎年サン・ファン祭りが開かれます。

3 夕見台公園入口

1 万石浦

2 宮城県慶長使節船ミュージアム (サン・ファン館)

3 小竹浜

4 折浜

5 始浜

6 ツリーハウス

7 桃浦

8 月浦「慶長遣欧使節・出帆の地」

1613年(慶長18年)に支倉常長(はせくらつねなが)がサン・ファン・パウティスタ号でヨーロッパを目指して出帆した地です。コリドーの海を現下する高台には、展望台、前線を記した記念碑、宮城県出身の彫刻家佐藤忠良作の常設像が立っています。

9 金華山道の小網倉浜口

金華山道は、牡鹿半島から信の島である金華山に至る参詣の道として利用されてきました。またこの道は、昭和初期に開通した以来、牡鹿半島の人々にとって唯一の生活道路でもありました。みちのく潮風トレイルは、できるだけ金華山道歩けるようにルート設定をしています。

10 侍浜

11 萩浜

12 小網倉浜

13 金華山道の小網倉浜口

14 小網倉浜

15 金華山道の小網倉浜口

16 小網倉浜

17 金華山道の小網倉浜口

18 小網倉浜

19 金華山道の小網倉浜口

20 小網倉浜

21 金華山道の小網倉浜口

22 小網倉浜

23 金華山道の小網倉浜口

24 小網倉浜

25 金華山道の小網倉浜口

26 小網倉浜

27 金華山道の小網倉浜口

28 小網倉浜

29 金華山道の小網倉浜口

30 小網倉浜

31 金華山道の小網倉浜口

32 小網倉浜

33 金華山道の小網倉浜口

34 小網倉浜

35 金華山道の小網倉浜口

36 小網倉浜

37 金華山道の小網倉浜口

38 小網倉浜

39 金華山道の小網倉浜口

40 小網倉浜

41 金華山道の小網倉浜口

42 小網倉浜

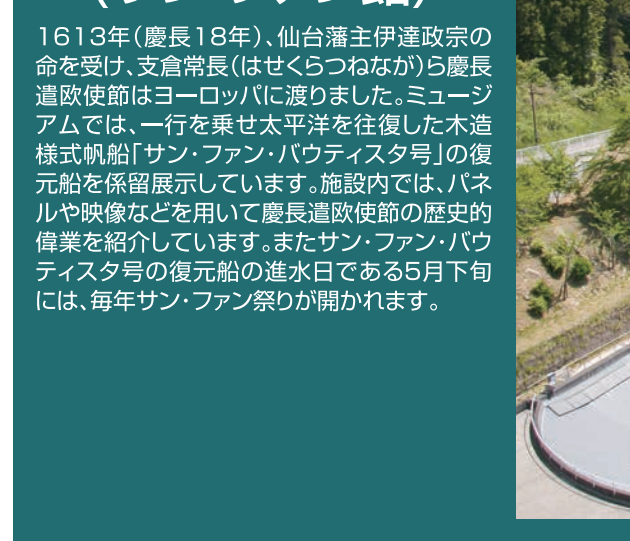
43 金華山道の小網倉浜口

44 小網倉浜

1日コース | 距離 約14.5km | 時間 約4時間50分

1 万石浦

仙台藩第2代藩主伊達忠宗が「この入江を千石以上の万石の米がとれるだろう」と語ったことが、万石浦の由来と伝えられています。現在では、カキやアサリの水揚げ場として知られています。



2 宮城県慶長使節船ミュージアム (サン・ファン館)

1613年(慶長18年)、仙台藩主伊達政宗の命を受け、支倉常長(はせくらつねなが)ら艦長連使節はヨーロッパに渡りました。ミュージアムでは、一行を乗せた太平洋を往復した本造格帆船「サン・ファン・パウティスタ号」の復元船を常設展示しています。施設内では、パネルや映像などを用いて、艦長連使節の歴史的意義を紹介しています。またサン・ファン・パウティスタ号の復元船の進水日である5月下旬には、毎年サン・ファン祭りが開かれます。

3 夕見台公園入口

1 万石浦

2 宮城県慶長使節船ミュージアム (サン・ファン館)

3 小竹浜

4 折浜

5 始浜

6 ツリーハウス

7 桃浦

8 月浦「慶長遣欧使節・出帆の地」

1613年(慶長18年)に支倉常長(はせくらつねなが)がサン・ファン・パウティスタ号でヨーロッパを目指して出帆した地です。コリドーの海を現下する高台には、展望台、前線を記した記念碑、宮城県出身の彫刻家佐藤忠良作の常設像が立っています。

9 金華山道の小網倉浜口

金華山道は、牡鹿半島から信の島である金華山に至る参詣の道として利用されてきました。またこの道は、昭和初期に開通した以来、牡鹿半島の人々にとって唯一の生活道路でもありました。みちのく潮風トレイルは、できるだけ金華山道歩けるようにルート設定をしています。

10 侍浜

11 萩浜

12 小網倉浜

13 金華山道の小網倉浜口

14 小網倉浜

15 金華山道の小網倉浜口

16 小網倉浜

17 金華山道の小網倉浜口

18 小網倉浜

19 金華山道の小網倉浜口

20 小網倉浜

21 金華山道の小網倉浜口

22 小網倉浜

23 金華山道の小網倉浜口

24 小網倉浜

25 金華山道の小網倉浜口

26 小網倉浜

27 金華山道の小網倉浜口

28 小網倉浜

29 金華山道の小網倉浜口

30 小網倉浜

31 金華山道の小網倉浜口

32 小網倉浜

33 金華山道の小網倉浜口

34 小網倉浜

35 金華山道の小網倉浜口

36 小網倉浜

37 金華山道の小網倉浜口

38 小網倉浜

39 金華山道の小網倉浜口

40 小網倉浜

41 金華山道の小網倉浜口

42 小網倉浜

43 金華山道の小網倉浜口

44 小網倉浜

1日コース | 距離 約9.9km | 時間 約4時間13分

1 万石浦

仙台藩第2代藩主伊達忠宗が「この入江を千石以上の万石の米がとれるだろう」と語ったことが、万石浦の由来と伝えられています。現在では、カキやアサリの水揚げ場として知られています。



2 宮城県慶長使節船ミュージアム (サン・ファン館)

1613年(慶長18年)、仙台藩主伊達政宗の命を受け、支倉常長(はせくらつねなが)ら艦長連使節はヨーロッパに渡りました。ミュージアムでは、一行を乗せた太平洋を往復した本造格帆船「サン・ファン・パウティスタ号」の復元船を常設展示しています。施設内では、パネルや映像などを用いて、艦長連使節の歴史的意義を紹介しています。またサン・ファン・パウティスタ号の復元船の進水日である5月下旬には、毎年サン・ファン祭りが開かれます。

3 夕見台公園入口

1 万石浦

2 宮城県慶長使節船ミュージアム (サン・ファン館)

3 小竹浜

4 折浜

5 始浜

6 ツリーハウス

7 桃浦

8 月浦「慶長遣欧使節・出帆の地」

1613年(慶長18年)に支倉常長(はせくらつねなが)がサン・ファン・パウティスタ号でヨーロッパを目指して出帆した地です。コリドーの海を現下する高台には、展望台、前線を記した記念碑、宮城県出身の彫刻家佐藤忠良作の常設像が立っています。

9 金華山道の小網倉浜口

金華山道は、牡鹿半島から信の島である金華山に至る参詣の道として利用されてきました。またこの道は、昭和初期に開通した以来、牡鹿半島の人々にとって唯一の生活道路でもありました。みちのく潮風トレイルは、できるだけ金華山道歩けるようにルート設定をしています。

10 侍浜

11 萩浜

12 小網倉浜

13 金華山道の小網倉浜口

14 小網倉浜

15 金華山道の小網倉浜口

16 小網倉浜

17 金華山道の小網倉浜口

18 小網倉浜

19 金華山道の小網倉浜口

20 小網倉浜

21 金華山道の小網倉浜口

22 小網倉浜

23 金華山道の小網倉浜口

24 小網倉浜

25 金華山道の小網倉浜口

26 小網倉浜

27 金華山道の小網倉浜口

28 小網倉浜

29 金華山道の小網倉浜口

30 小網倉浜

31 金華山道の小網倉浜口

32 小網倉浜

33 金華山道の小網倉浜口

34 小網倉浜

35 金華山道の小網倉浜口

36 小網倉浜

37 金華山道の小網倉浜口

38 小網倉浜

39 金華山道の小網倉浜口

40 小網倉浜

41 金華山道の小網倉浜口

42 小網倉浜

43 金華山道の小網倉浜口

44 小網倉浜

1日コース | 距離 約14.5km | 時間 約4時間50分

1 万石浦

仙台藩第2代藩主伊達忠宗が「この入江を千石以上の万石の米がとれるだろう」と語ったことが、万石浦の由来と伝えられています。現在では、カキやアサリの水揚げ場として知られています。



2 宮城県慶長使節船ミュージアム (サン・ファン館)

1613年(慶長18年)、仙台藩主伊達政宗の命を受け、支倉常長(はせくらつねなが)ら艦長連使節はヨーロッパに渡りました。ミュージアムでは、一行を乗せた太平洋を往復した本造格帆船「サン・ファン・パウティスタ号」の復元船を常設展示しています。施設内では、パネルや映像などを用いて、艦長連使節の歴史的意義を紹介しています。またサン・ファン・パウティスタ号の復元船の進水日である5月下旬には、毎年サン・ファン祭りが開かれます。

3 夕見台公園入口

1 万石浦

2 宮城県慶長使節船ミュージアム (サン・ファン館)

3 小竹浜

4 折浜

5 始浜

6 ツリーハウス

7 桃浦

8 月浦「慶長遣欧使節・出帆の地」

1613年(慶長18年)に支倉常長(はせくらつねなが)がサン・ファン・パウティスタ号でヨーロッパを目指して出帆した地です。コリドーの海を現下する高台には、展望台、前線を記した記念碑、宮城県出身の彫刻家佐藤忠良作の常設像が立っています。

9 金華山道の小網倉浜口

金華山道は、牡鹿半島から信の島である金華山に至る参詣の道として利用されてきました。またこの道は、昭和初期に開通した以来、牡鹿半島の人々にとって唯一の生活道路でもありました。みちのく潮風トレイルは、できるだけ金華山道歩けるようにルート設定をしています。

10 侍浜

11 萩浜

12 小網倉浜

13 金華山道の小網倉浜口

14 小網倉浜

15 金華山道の小網倉浜口

16 小網倉浜

17 金華山道の小網倉浜口

18 小網倉浜

19 金華山道の小網倉浜口

20 小網倉浜

21 金華山道の小網倉浜口

22 小網倉浜

23 金華山道の小網倉浜口

24 小網倉浜

25 金華山道の小網倉浜口

26 小網倉浜

27 金華山道の小網倉浜口

28 小網倉浜

29 金華山道の小網倉浜口

30 小網倉浜

31 金華山道の小網倉浜口

32 小網倉浜

33 金華山道の小網倉浜口

34 小網倉浜

35 金華山道の小網倉浜口

36 小網倉浜

37 金華山道の小網倉浜口

38 小網倉浜

39 金華山道の小網倉浜口

40 小網倉浜

41 金華山道の小網倉浜口

42 小網倉浜

43 金華山道の小網倉浜口

44 小網倉浜